

- 問1 紀元前1600年ごろに成立した古代中国の王朝である殷（いん）において、精巧な青銅器とともに使われていた、現在の漢字のルーツとされる文字を何といいますか。 （2016年 愛知県公立入試 類似）
1. 甲骨文字                      2. くさび形文字                      3. 象形文字                      4. ハングル
- 問2 古代メソポタミア文明において、川のほとりで得られる粘土を板状にし、そこに葦（あし）などの茎の先を押し当てて刻まれた、独特の形状を持つ文字を何といいますか。 （2024年 奈良県公立入試 類似）
1. アルファベット                      2. 象形文字                      3. 楔形文字                      4. 甲骨文字
- 問3 18世紀後半から、オーストラリアがイギリスの支配下に置かれ、開拓や資源の獲得の拠点となっていた歴史的な状態を指す用語として、最も適切なものを選択してください。 （2016年 山口県公立入試 類似）
1. 委任統治領                      2. 保護国                      3. 自治領                      4. 植民地
- 問4 日本で最初の元号とされる「大化」が使われ、大化の改新などの国づくりが進められていた7世紀の西アジアにおいて、ムハンマドによって新しく開かれた宗教の名称を答えなさい。 （2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 仏教                      2. キリスト教                      3. イスラム教                      4. ヒンドゥー教
- 問5 7世紀にアラビア半島のムハンマドが、唯一の神であるアッラーからの啓示を受けたとして開いた、神への絶対的な服従を説く宗教は何か、次の中から選びなさい。 （2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 儒教                      2. イスラム教                      3. 仏教                      4. キリスト教
- 問6 古代ギリシャの歴史家ヘロドトスが「エジプトはナイルのたまもの」という言葉を残したように、ナイル川はエジプト文明の発展に不可欠な存在でした。ナイル川が農業の基盤として果たした役割について、最も適切な説明を選んでください。 （2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 年中中雨が多いため、川の水位が常に一定に保たれ、二期作や三期作が可能になった。                      2. 川の流れが非常に急であったため、大規模な水車を設置して灌漑施設を動かす動力源となった。                      3. 川の水の塩分濃度が高かったため、周辺の土地で塩の採取が盛んになり、交易の資金源となった。                      4. 定期的に氾濫することで、上流から農業に適した肥沃な土を運び、土地を豊かにした。
- 問7 古代中国の殷王朝では、政治上の重要な決定を行う際に神の意思を問う占いが行われていました。この占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や動物の骨に刻んで使われた文字を何と呼びますか。 （2025年 大阪府公立入試 類似）
1. 象形文字（ヒエログリフ）                      2. 楔形文字                      3. 甲骨文字                      4. アルファベット
- 問8 日本の歴史における出来事や文化と、それが属する時代の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 （2025年 岩手県公立入試 類似）
1. 朝鮮への兵の提出に際して多くの陶工が連れてこられた — 鎌倉時代                      2. 勘合を用いて明と貿易が行われた — 奈良時代                      3. 正倉院に宝物が納められ天平文化が栄えた — 室町時代                      4. 渡来人によって須恵器の技術が伝えられた — 古墳時代
- 問9 18世紀後半から20世紀前半にかけてオーストラリアを統治し、メルボルンの街並みに見られるような石造りの建築物やキリスト教の教会といった、ヨーロッパの都市に見られるような景観を形成する要因となった国はどこですか。 （2026年 奈良県公立入試 類似）
1. アメリカ合衆国                      2. オランダ                      3. イギリス                      4. ポルトガル
- 問10 紀元前16世紀ごろに中国の黄河流域で栄えた殷王朝では、亀の甲羅や動物の骨に鋭い道具で文字を刻み、政治の重要な事柄を決定していました。現在の漢字の起源とされるこの文字を何といいますか。 （2017年 大阪府公立入試 類似）
1. 甲骨文字                      2. 金文                      3. 象形文字                      4. 楔形文字
- 問11 古代文明は、農耕に適した大河の流域で発展しました。現在のパキスタン付近を流れる河川の流域で成立し、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を築いた文明として正しいものを次の中から選びなさい。 （2019年 愛知県公立入試 類似）
1. インダス文明                      2. エジプト文明                      3. 黄河文明                      4. メソポタミア文明
- 問12 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。 （2023年 京都府公立入試 類似）
1. 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。                      2. 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。                      3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。                      4. 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
- 問13 紀元前2500年ごろからインダス川流域で栄えた古代文明では、石で作られた四角い印章に動物の図像とともに独自の文字が刻まれていました。この文字に関する説明として、他の文明の文字と比較した際の特徴を次の中から選びなさい。 （2025年 愛知県公立入試 類似）
1. フェニキア人によって考案され、後のアルファベットの起源となった。                      2. エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。                      3. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字であり、現在の漢字の原型となった。                      4. 粘土板に刻まれることで記録が残り、現在ではその内容の多くが解明されている。
- 問14 アフリカ大陸の北東部、地中海に注ぐ大河の流域で発展した古代文明について、この大河の名前と、この文明で使われていた文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2026年 茨城県公立入試 類似）
1. ティグリス・ユーフラテス川 — 象形文字                      2. ナイル川 — 楔形文字                      3. ナイル川 — 象形文字                      4. ティグリス・ユーフラテス川 — 楔形文字
- 問15 古代エジプトにおいて、天体観測が発達し「太陽暦」が作られた背景として、ナイル川の自然環境と農業の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2026年 茨城県公立入試 類似）
1. ナイル川の上流にあるピラミッド建設現場へ、石材を運ぶための増水期を知るため                      2. ナイル川の交易路が地中海とつながる時期を特定し、麦の輸出額を増やすため                      3. ナイル川の急激な水量の減少を予測し、砂漠化を防ぐための灌漑施設を稼働させるため                      4. ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため